

振り込め詐欺の被害に遭わないために

▼振り込め詐欺の被害に遭う方のほとんどが高齢者です。また、詐欺の手口は、年々巧妙になっています。

被害を未然に防ぐためには、高齢者本人が問題意識を高めるとともに、家族や地域の見守りが大切です。

国では、「未然ポイント4カ条」などの標語で注意喚起を図り、被害の未然防止を呼び掛けています。

【未然ポイント4カ条】

未然ポイント4カ条の各項目について、日ごろから家族全員で話し合い、もしもの場合に備えておきましょう。

□ ポイント①

日ごろから家族でよく話し合おう。

□ ポイント②

家族で事前に「合言葉」を決めておく。

□ ポイント③

電話でお金の話をしないと約束しておく。

□ ポイント④

常に「留守番電話」に設定してもらう。

みんなの力で
被害を未然に防ごう！



【留萌管内の事例紹介】

留萌管内の70代女性宅に「女性の次男」と名乗る男から電話がかかってきました。話し方などに違和感を感じた女性が「本当に次男なのか」と問い掛けたところ、男はすぐに電話を切ってしまいました。

その後、あらためて女性が次男に電話で確認したところ、本人ではなかったことが分かりました。違和感に気付いたことが、特殊詐欺の被害を未然に防ぐことにつながりました。

振り込め詐欺の被害を未然に防ぐためには、「気付き」と「声掛け」がとても大切です。



あなたも振り込め詐欺の犯人に狙われているかもしれません。「自分は大丈夫」と思い込まずに、「変だな」と少しでも思った場合には家族や警察へ相談しましょう。

特集



振り込め詐欺にご注意ください

振り込め詐欺の被害に遭わないために、日ごろから正しい対処法や未然に防ぐ方法などの知識を深めましょう。

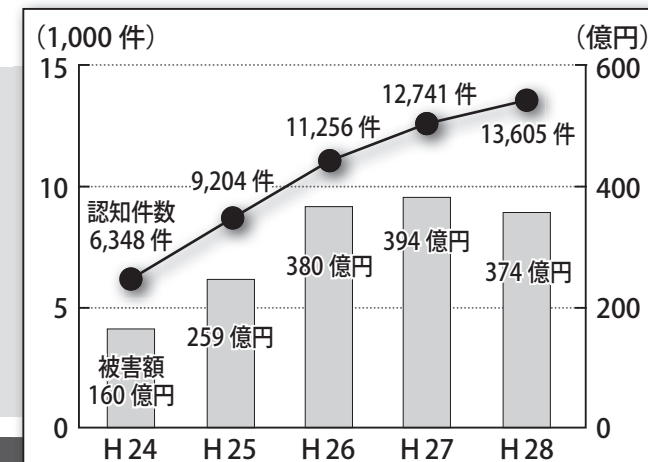
問 市・総務課 ☎ 56-5005

振り込め詐欺とは

▼振り込め詐欺とは、オレオレ詐欺や架空請求詐欺などの特殊詐欺を総称したものです。

警視庁がまとめた「全国振り込め詐欺認知件数・被害総額の推移」によると、認知件数は増加傾向で推移しており、各年度の被害額は平成26年以降350億円を超えています。

▼全国振り込め詐欺認知件数・被害総額の推移



詐欺の特徴と対処法などについて

【オレオレ詐欺】

あなたの子や孫になりすまし、「会社のお金を使い込んでしまった」などとかたって金銭を要求する詐欺です。

すぐに金銭を振り込むのは絶対にやめましょう。電話をいったん切り、冷静になってから本人か確認しましょう。

【融資保証金詐欺】

「資金を融資します」などと持ちかけ、「保証金」や「手数料」という名目で金銭をだまし取る詐欺です。

冷静に判断し、接触しないようにしましょう。しつこく勧誘された場合などには、警察へ相談しましょう。

【架空請求詐欺】

「未払いの有料サイト（インターネット）利用料を支払え」などとかたって金銭を要求する詐欺です。

身に覚えのない請求は無視しましょう。うっかり請求元へ連絡してしまうと、何度も請求されるおそれがあります。

【還付金等詐欺】

市の職員などを装い、「還付金があるからATMで手続きしてほしい」と誘い出して金銭をだまし取る詐欺です。

振り込まれる側のあなたがATMで入金手続きを行っても、お金が振り込まれることは絶対にありません。

